

報道機関各位

**「北九州国際映画祭」アンバサダーに
リリー・フランキーさんのご就任が決定！
オープニング作品が決定！
及び、公式ホームページ・Instagram 新設！**

本日、令和5年12月13日～17日に開催する「北九州国際映画祭」のアンバサダーに、北九州市出身・北九州市文化大使のリリー・フランキーさんにご就任いただくことが決定いたしました。また、ご就任に当たり、リリー・フランキーさんからメッセージをいただきました。

加えまして、本映画祭のオープニング作品の決定及び、公式ホームページ・Instagramの新設についても併せてお知らせいたします。

1 アンバサダー リリー・フランキーさん

北九州市出身・北九州市文化大使。イラストやデザインのほか、文筆、写真、作詞・作曲、俳優など多種多様な分野で活躍。

2 オープニング作品

- (1) 『ウィール・オブ・フェイト ～映画「無法松の一生」をめぐる数奇な運命～』
- (2) 『無法松の一生 [4K デジタル修復版]』

戦時下、二度の検閲を受けながらも、国威発揚ではなく、小倉を舞台とした娯楽映画が国民に元気を与えました。

今も映画が息づく北九州市は、昨年、相次ぐ大火に見舞われ、世界では今も争いが絶えません。

この混沌とした時代に、映画の力で新たな時代の扉を開くことを願い、本作を上映いたします。

3 公式ホームページ・SNS (Instagram)

「北九州国際映画祭」の公式ホームページ、SNS (Instagram) を新設し、今後、最新情報を適時発信してまいります。

《公式ホームページ》

<https://kitakyushu-kiff.jp/>



《公式 Instagram》

<https://www.instagram.com/kiff202312/>



- ※ 各画像は、一部削除や縦横の縮尺変更をせずご使用ください。
- ※ リリー・フランキーさんの画像はクレジットを含めご使用ください。
- ※ 『無法松の一生 [4K デジタル修復版]』の画像使用時はクレジットをご記載ください。

(お問い合わせ先)

北九州国際映画祭実行委員会事務局

北九州市市民文化スポーツ局文化企画課

担当: 村田、堀池 電話: 093-582-2389

1 アンバサダー：リリー・フランキーさん

【メッセージ】

北九州市で映画祭が開始される初年度にアンバサダーを務めさせて頂くこと、大変光栄に思います。そして、微力ながら、映画と、想いと、地域の灯すあたたかさが、人々に伝わりますよう、尽力したいと考えております。

【プロフィール】

1963年11月4日、福岡県北九州市小倉生まれ。自身初の長編小説『東京タワー ～オカンとボクと、時々、オトン～』が、200万部を突破する大ベストセラーになり、2006年本屋大賞を受賞。

同作品は、映画をはじめ、ドラマ、舞台化された。

また、自作の絵本をアニメ化した『おでんくん』も高い人気を誇る。

近年は、俳優としての活躍もめざましく、映画『ぐるりのこと。』（2008年/橋口亮輔監督）でブルーリボン賞新人賞、『凶悪』（2013年/白石和彌監督）と『そして父になる』（2013年/是枝裕和監督）で第37回日本アカデミー賞優秀助演男優賞（『そして父になる』は最優秀助演男優賞）など多数受賞。第71回カンヌ国際映画祭では、主演を務めた『万引き家族』（2018年/是枝裕和監督）がパルム・ドールを受賞。

○平成21年度～北九州市子どもノンフィクション文学賞審査員

○平成22年度～北九州市文化大使

○令和3年度（第54回）北九州市民文化賞受賞



2 オープニング作品

(1) 『ウィール・オブ・フェイト ～映画『無法松の一生』をめぐる

数奇な運命～』

二度にわたる検閲、主演女優の原爆死。本作は、『無法松の一生』の知られざる数奇な運命を紐解くとともに、宮島正弘撮影監督の修復にかける想いと、コロナ禍での国境を越えた修復に密着したドキュメント。

監督：山崎エマ

出演：宮島正弘、白井佳夫、田村 亮、太田米男

ナレーション：リリー・フランキー

20分 カラー&モノクロ 日本語 2020年 アメリカ/日本

(2) 『無法松の一生 [4K デジタル修復版]』

明治末期の九州小倉を舞台に、無法松と呼ばれる人力車夫・松五郎の生き様を、哀切に満ちた心温まるエピソードとともに綴り、理想の女性に対する美しき愛情、男の真情を描く感動巨篇。

監督：稲垣 浩

出演：阪東妻三郎、園井恵子、永田 靖

80分 モノクロ 日本語

1943年 日本



©1943 角川映画